



# 校長室だより

令和8年度

10月16日

NO.23

## スポーツの秋。身体を動かすことは、自分を成長させること！

「何をどう学ぶかは、私が決める。自分でもしろいと思ひ、必要だと思ふことを学ぶのであつて、誰かに「これは覚えておきなさい」とか「練習しておきなさい」とか言われるわけでない。」

『学び』を問いつづけて (小学館) 佐伯胖著



1, 2年生表現リズム遊び、3, 4年生「保健」の授業、5, 6年生ボール運動、の1コマ

八日には岡崎市の保健体育科指導員で福岡中学校の大野先生に体育の授業を見てもらいました。一、二年生は体育館で表現リズム遊びを、五、六年生はバスケットボールを行いました。一、二年生はネズミやゾウやツバメやワニなど、即興で示された様々な動物になりきって、元よく体いっぱい表現することができました。そしてそれを見て、それぞれのいいところをすぐに仲間に伝える姿も素敵でした。また、バスケットは難しいスポーツですが、どの子もあきらめずにボールを追って、激しく真剣に動いていました。ややもすると、動きが分からずボールが集まったり、動きたくなくボールから離れて立っているだけだったりしがちですが、一人一人が動きを考え、ボールをもらえる場所に動くなど、チームで協力して動く姿が見られました。三、四年生は、堤先生による保健の授業でした。ブラスクライトによる手の清潔調べでは、みんな汚れている個所を真剣に洗っていました。これからはきつと、みんなしっかりと手を洗えると思います。

体育ではよく、「好きな子」と「苦手な子」の二極化が課題として起こります。生涯スポーツの重要性も問われる中で、体育授業の果たす役割は重要です。体を動かすことが嫌いな子もいますが、やはり誰でもできるようになるとうれしく、技能や能力を伸ばしたり、体で表現したりすることは、人の身体の成長に欠かせません。そして今回も、当然、表現の仕方はみんな違い、バスケットもチームの中の役割により、一人一人の動きは違うなど、個々で目指すところも違います。体育ではみんな同じようにできることを求められがちですが、それぞれが、自分にあつた身体の進化を楽しめるようになってよいと考えます。

- ・10日には、本校体育館で「河合2050」による「さわやかコンサート」が行われました。出演された方々もとても喜んでみえました。お越しいただいたみなさま、どうもありがとうございました。
- ・9月28日より教育実習にみていた加藤先生が、10月16日で終わりを迎えます。1, 2年生はたくさん授業をしてもらったり遊んでもらったりしました。また素梨小に来てほしいですね。
- ・19日～20日は5, 6年の山の学習です。安全に楽しく行ってきたいと思います。応援をお願いします。